

編集後記

(57巻 第2号 2011年2月)

毎年のことだが、成人の日の三連休を利用して修練医達を連れて北海道へのスキー旅行に出かけた。今年の冬は異常なくらい寒いので、雪の量と質には全く問題が無かったが、3日の内一日中スキーを楽しめる日曜日は残念ながら悪天候だった。

私のわがままで始めたこの企画も10年が経つ。毎年15名くらいのメンバーが集まる。大学院生が幹事役を務め、関連病院からもスキー好きが参加するが、皆勤賞はついに私だけになった。10年前の勢いと比べると、自分の体力の低下を実感する。今回の日曜日も、朝すこし滑って、昼はビールで雪見。宿に早々に帰って大学ラグビーの決勝戦をテレビ観戦。夕方に少し滑って温泉という、スキー好きとは言えないような体たらくである。

しかし、北海道のスキーは楽しいし気持ちが良い。何故か最終日は良い天気になり、絶好のコンディションでのスキーが楽しめた。また、行きつけのジンギスカン屋さんも出来て、1年に一回の絶品のラム肉も楽しみのひとつになっている。体力が徐々に落ちていくのはしかた無いが、この旅行に参加する気力だけは保ちたいと思っている。

(小川 修)